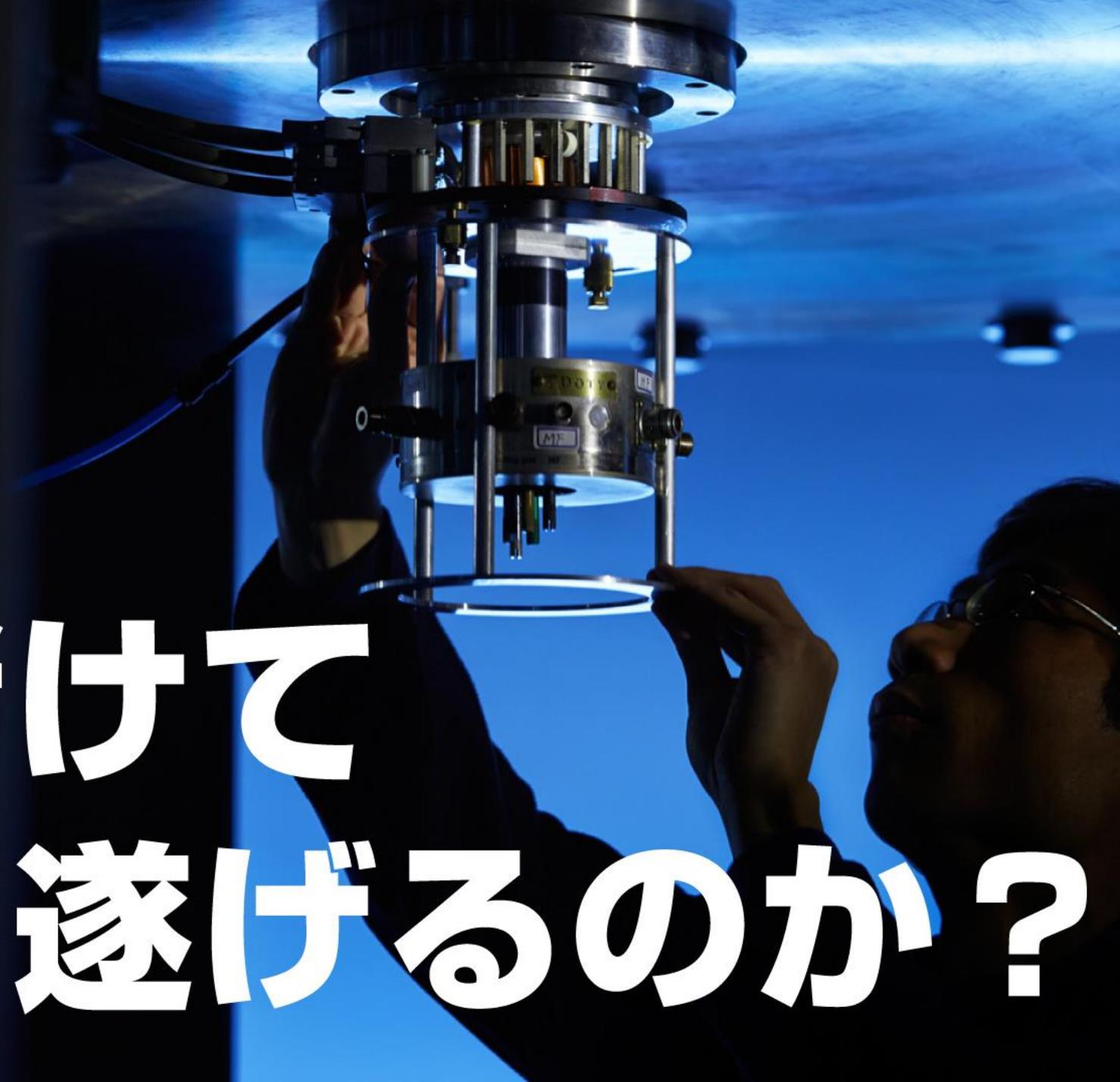




国立研究開発法人
物質・材料研究機構

君は
人生を賭けて
何を成し遂げるのか？

A scientist wearing glasses is shown in profile, looking upwards at a complex, multi-tiered laboratory instrument. The instrument is illuminated with a blue light, and the scientist's hands are visible as they adjust a component. The background is dark with some blue lighting, suggesting a laboratory setting.



物質・材料研究機構（NIMS）とは

名称 国立研究開発法人物質・材料研究機構
National Institute for Materials Science (NIMS)

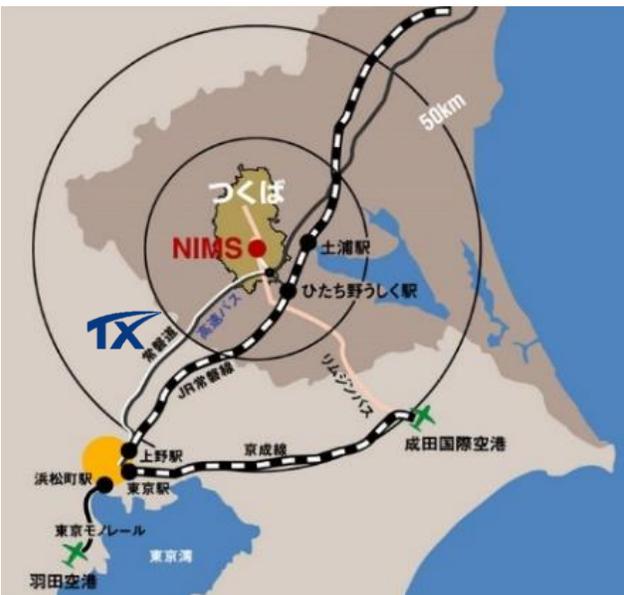


所在地 茨城県 つくば市

- ・ 千現地区
- ・ 並木地区
- ・ 桜地区

NIMS千現地区全景

筑波山



『特定国立研究開発法人』

理研 産総研 NIMS の3機関

材料で、世界を変える

物質・材料の進化と革新を先導し、未来社会を豊かにします



1 挑戦と革新

革新的な研究成果を創出するために、常に挑戦を続けます



2 社会とのつながり

社会との対話や協働を大切にし、創出された研究成果を社会へ還元します



3 人の協奏

人材の交流・育成の拠点として誰もが魅力を感じる開かれた研究環境を実現します



4 多様性を尊重する文化

職員が互いを尊重して、国籍・性別・職種に依らず生き生きと働ける環境を創ります



5 誠実と公正

日本を代表する研究機関として、高い倫理観を持って、健全かつ透明な運営を行います

世界の明かりを変えた研究所

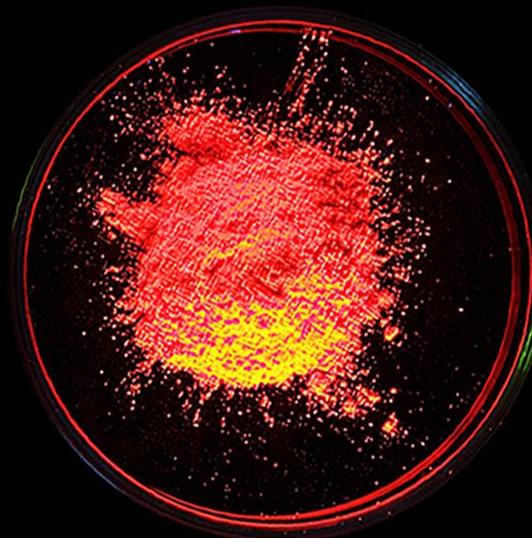
ニ ム ス
NIMS



白色LED照明

省エネの切り札、LED。実は少し前の白色LEDは赤い成分を充分に出せず青白かったのです。でも、今は違います。

NIMSが作った白色LED。肌色がきれいに出る液晶テレビに。落ち着いた色の明かりで照明に。今や全世界でNIMSの白色LEDが使われています。すごいで、NIMS！



世界の飛行機を変える研究所

ニ ム ス
NIMS



超耐熱合金を使ったタービン動翼

省エネのジェット機。実は燃焼温度を高くすると燃費は向上します。
でもエンジン材料の耐熱温度に問題がありました。
NIMSは世界記録の耐熱超合金を開発。最新型ボーイング787に導入され、
1機で年間1億円の燃料代を節約します。世界の飛行機を変えています、NIMS！





ハイブリッド・電気自動車をまもる研究所

ニ ム ス
NIMS



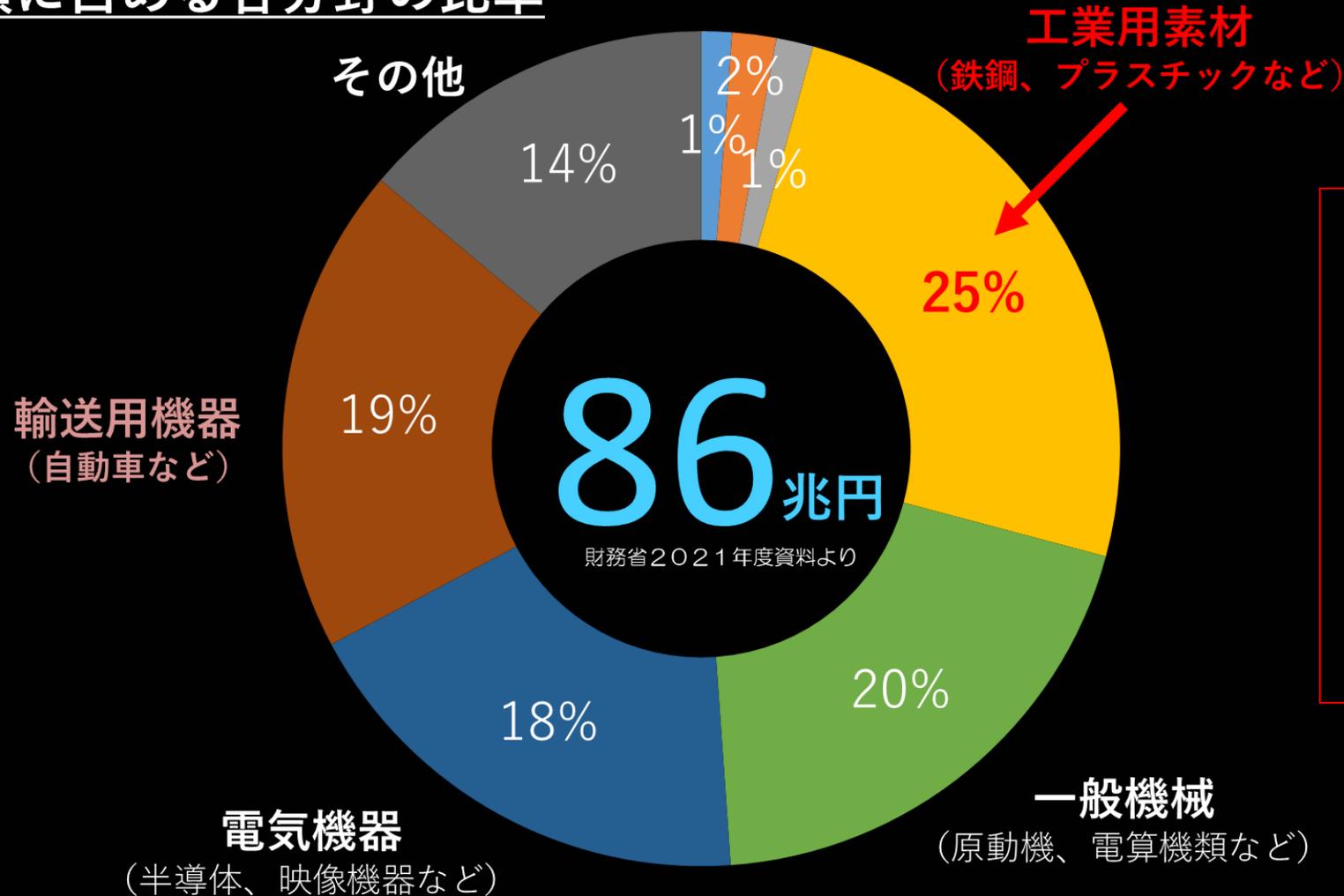
ジスプロシウムを使わない磁石

ハイブリッド自動車のモーターに欠かせない世界最強ネオジム磁石。
でも走行中に温度が高くなると磁力を失います。それを防ぐジスプロシウムはとても希少。
NIMSはジスプロシウムなしで磁石の耐熱性向上に成功しました。次世代自動車技術を救います。
大活躍、NIMS！

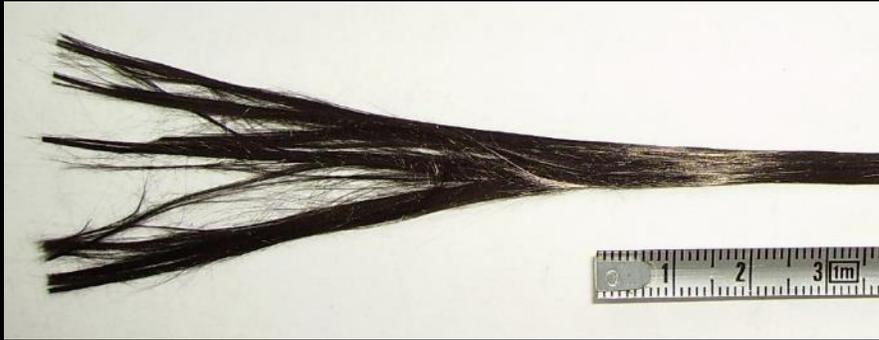


「日本にとって最重要分野」

輸出総額に占める各分野の比率



日本の
産業基盤を
支える
材料開発

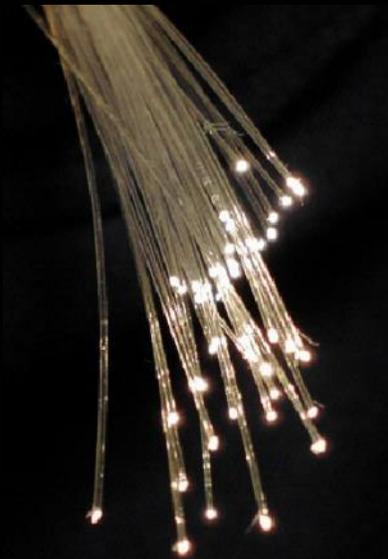


炭素繊維



リチウムイオン二次電池

日本が開発した材料



光ファイバー



青色LED



ネオジム磁石

1. 材料科学分野で国内No.1の影響力

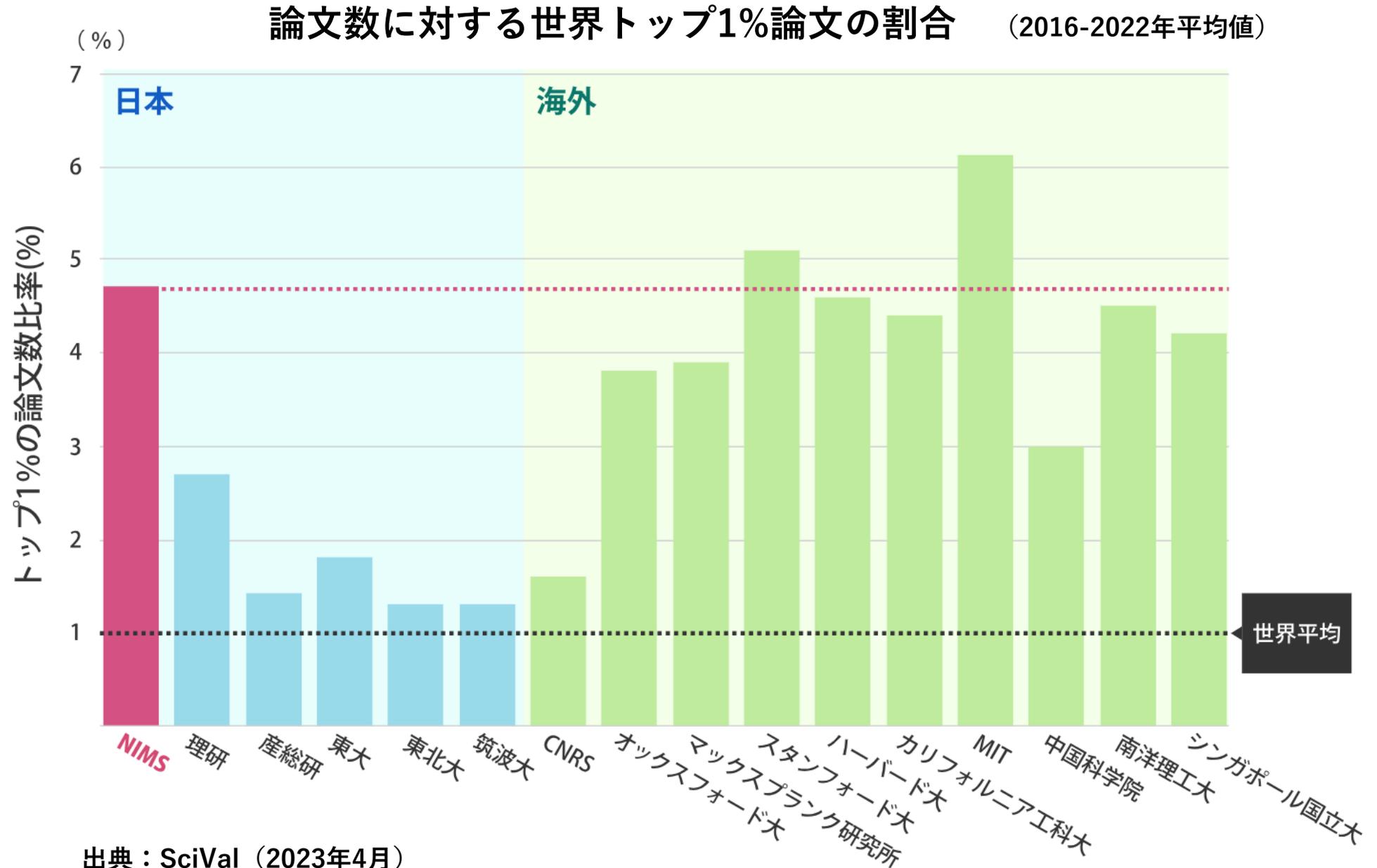
分野別トップ10（材料科学/Materials Science）

国内順位	機関名	高被引用論文数	高被引用論文数の割合
1位	物質・材料研究機構(NIMS)	157	2.4%
2位	東京大学	76	1.5%
3位	東北大学	53	0.8%
4位	産業技術総合研究所	51	1.3%
5位	京都大学	38	1.0%
6位	理化学研究所	32	2.8%
6位	九州大学	32	0.9%
8位	早稲田大学	27	2.6%
9位	東京工業大学	20	0.6%
10位	北海道大学	19	0.8%

他の分野でのNIMSの順位

化学 … 国内 3 位
物理 … 国内 3 位
総合 … 国内 6 位

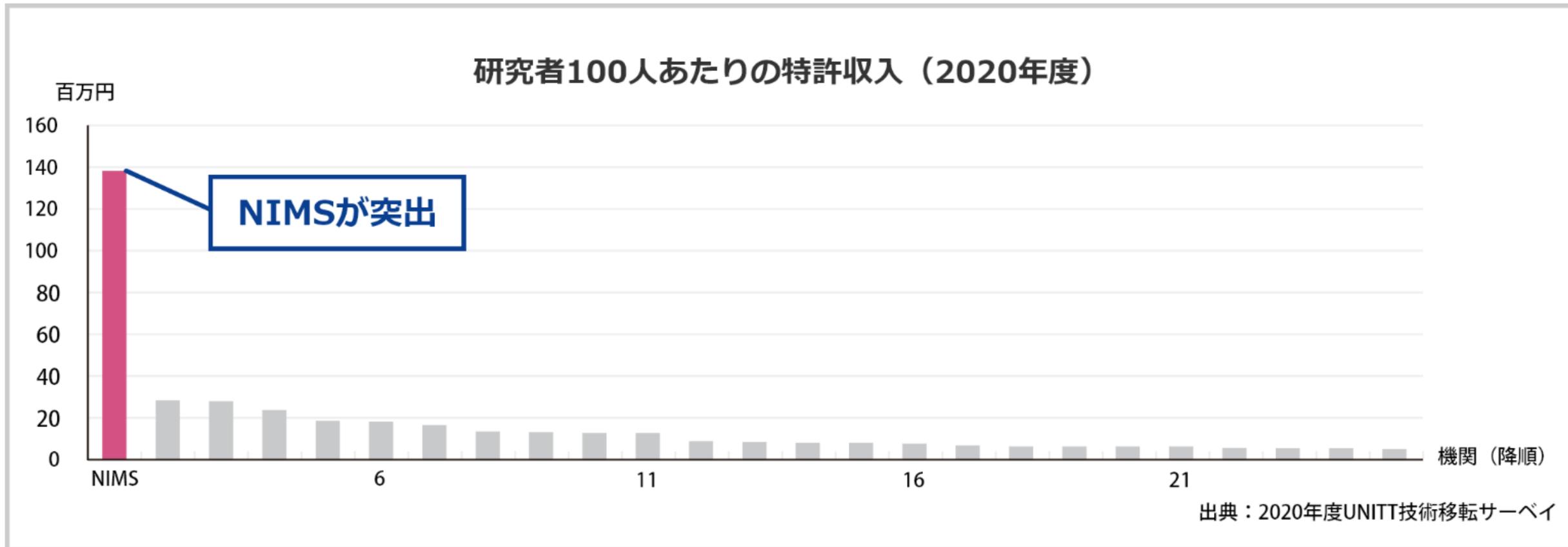
2. NIMSの論文 世界でもトップレベル



3. 国内で一番！稼ぐ力のある研究機関

日本の研究機関・大学と比較すると、NIMSは突出して高い特許収入を得ています

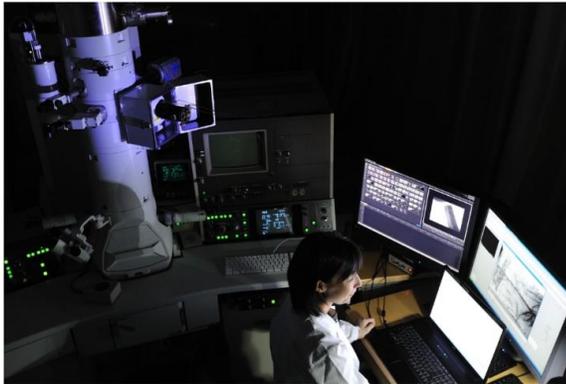
NIMSの理念は、「**使われてこそ材料**」！



NIMSを支える3つの職種

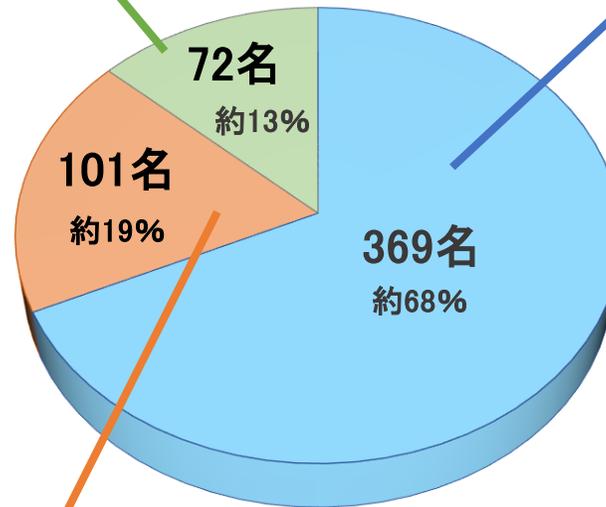
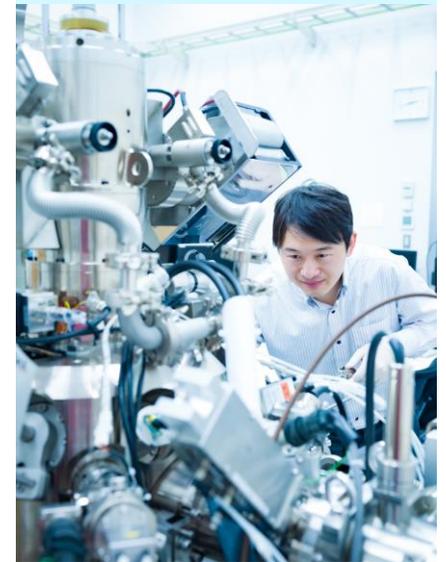
エンジニア職（技術職）

世界最高水準の研究成果を得るための独自の装置・プログラム・解析手法等の開発や高度化、研究環境構築などを担う



研究職

知を結集し、明るい未来社会を創造する革新的新材料の開発に挑む

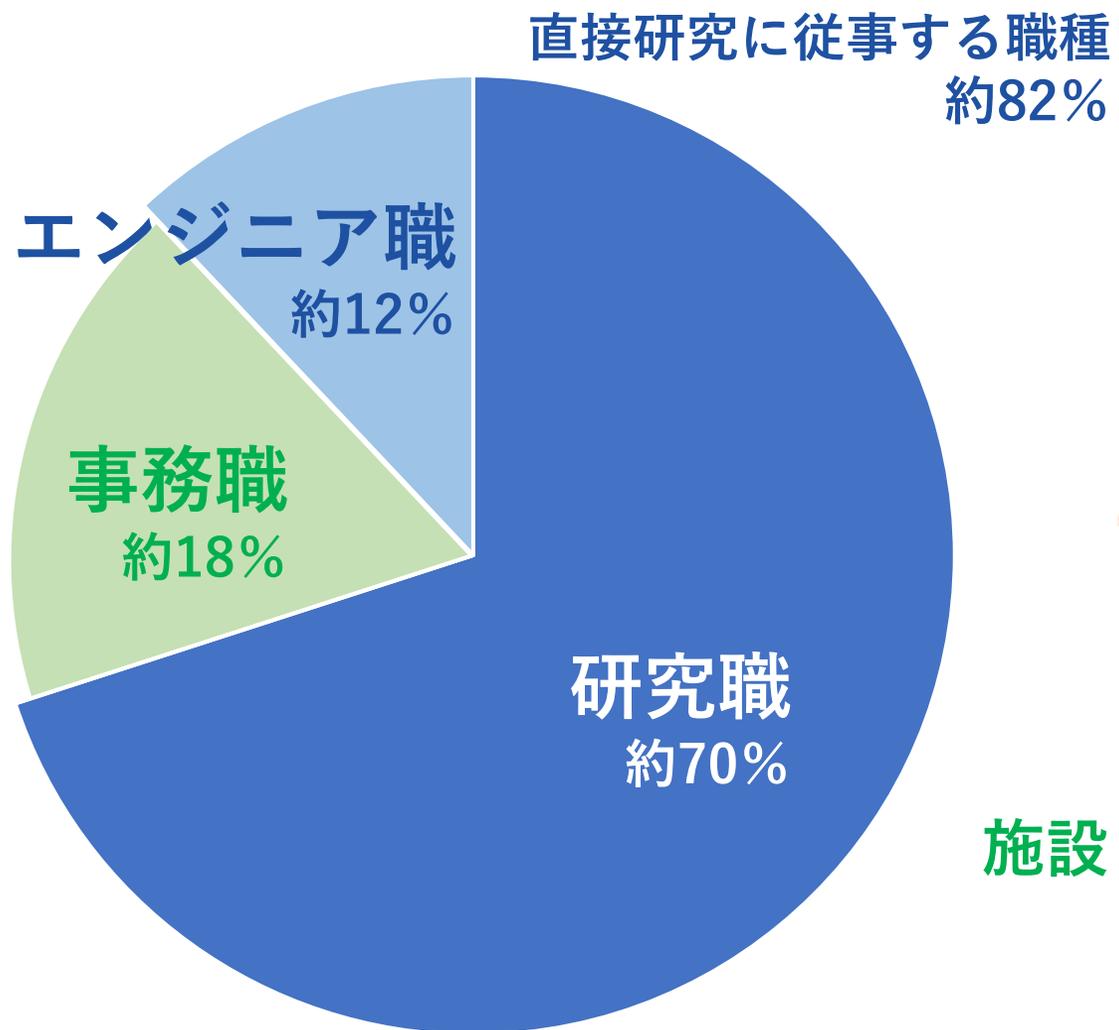


事務職（総合職）

研究所の経営・運営や環境づくりを担う



事務職の仕事



施設・実験設備の管理

お金の管理

< 定年制職員の内訳 >

事務職の仕事



人の管理

組織運営

ジェネラリスト

NIMS運営のための幅広い業務に従事する

社会還元

施設・実験設備の管理

お金の管理

セミスペシャリスト

施設管理、会計等専門スキルを育てつつ、
複数の部門に跨る業務に従事する

NIMSそのものを支える仕事

事務職の仕事

企画系業務

総務系業務

技術系業務

経営企画室

事業の企画立案、予算要求・配分、法人評価等を行い、NIMS全体を取りまとめる核として、経営陣と現場の総合調整を担っています。

外部連携部門

国内外産学官連携の一層の強化により、研究成果をより効果的に社会に還元することを目指した技術移転戦略、特許戦略の立案・実行を行う部門

国際・広報部門

物質・材料研究の活力を支える学術連携、人材育成、広報を強力に推進

人材部門

国内外の研究者・技術者の育成、人事、研修、評価等に関する業務

財務部門

NIMSの運営に必要な資金や資産の管理、執行に係る統制機能を担い、各種業務でNIMSの研究を幅広くサポート

総務・安全管理部門

建物管理、施設・設備の維持管理、安全衛生、防災を一体的に推進することにより、NIMSの研究をサポート

情報基盤統括部門

機構全体の運営に係る情報化とセキュリティを一体的に推進することにより、NIMSの研究開発をサポート

研究開発の成果の最大化のための環境や体制づくり

☆ここに記載した部門での業務のほか、研究部門における研究管理業務、コンプライアンス業務などがあります。

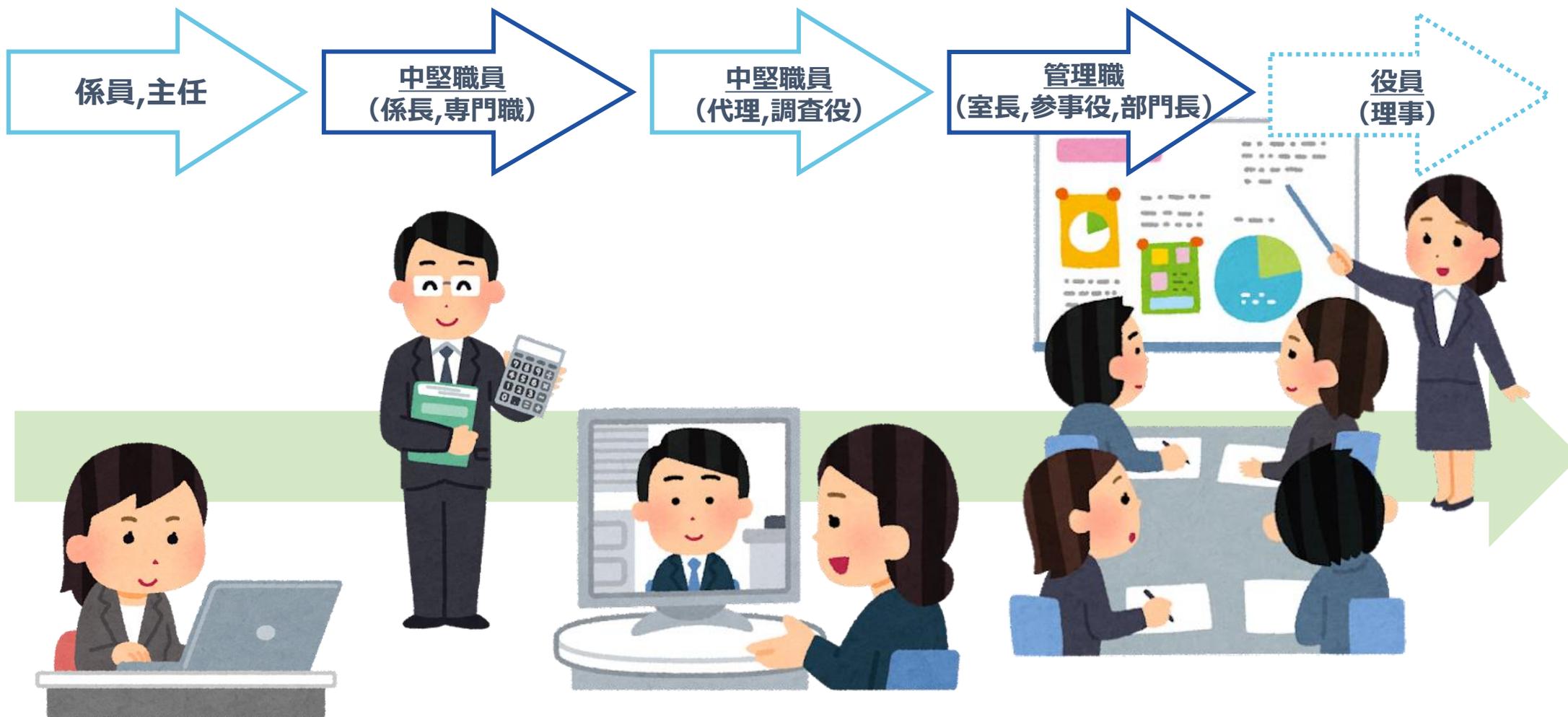
ジェネラリスト

2～3年程度で異動し、様々な種類の業務を経験



→さまざまな仕事を経験し、機構の業務や全体像を把握

事務職のキャリアパス



過去の経験を活かし、機構全体を見通した仕事が求められていく

事務職に求められる要素

○単なるアシスタントではなく、プレーヤーとして活躍
定年制事務職の業務は「研究の下支え」だが、「研究者のアシスタント」ではない。
研究者に負けない職業人としての
矜持をもって業務にあたる必要がある。



○各業務分野で磨かれる専門的能力と、幅広い視野
の両立

事務職の業務は多岐に亘り、それぞれの部署固有の知識を
効率よく身に付ける必要があるが、一方、これに縛られない多
角的な、各自の強みを生かした視点が必要とされる。

○芯の強さと協調性をバランスよく保持する力
研究職／エンジニア職と事務職とでは立場が違うため、
業務上の意見の不一致が起きることも。
自分の考えをはっきり示すとともに、
相手の立場を理解する姿勢も
求められる。



○公的機関の職員としての良識と責任をもった行動
NIMSの職員は、「公務に従事する職員」とされ、
いわゆる「みなし公務員」になる。
公務に従事する人間として恥ずかしくない姿を
常に意識することが大切。



